

2026 年 7 月 1 日

講座代表
分野別責任者 各位

ダイバーシティ・キャリア支援センター長 北川 博昭
女性医師・研究者支援部会長 高田 礼子

2026 年度聖マリアンナ医科大学 ダイバーシティ表彰(学術分野)の募集について

本学では、優れた研究成果を挙げ将来性のある、女性研究者およびライフイベント(育児)中の研究者を表彰することにより、女性・ライフイベント中の研究者の更なる活躍を支援するとともに、学術分野における男女共同参画に資することを目的として表彰を行うこととしました。

この度、2026 年度の募集を以下のとおり行いますのでお知らせ致します。

1. 応募資格等

(1)～(3)の要件を満たしている方とします。応募資格等の詳細については、**別表**をご確認ください。

(1) 2025 年度(2025.4.1～2026.3.31)、本学在職中^{※1}もしくは留学(国内・海外)中および出向中に、筆頭著者または責任著者として公表した論文^{※2}がある方。

ただし、過去の当該表彰受賞者、本年度の前田賞応募者、過去に前田賞を受賞した論文および学位論文^{※3}での応募を除く。また公表媒体は、電子媒体公表(Epub)でも、紙媒体公表(印刷)でもどちらかが該当すればよい。

(2) 2026 年 4 月 1 日現在、次の A または B のいずれかの要件を満たしている方。

A 本学に在職^{※1}している女性の講師または助教(非常勤講師を除く。特任講師・特任助教、任期付助教を含む)であること。

B 本学に在職^{※1}している講師または助教(非常勤講師を除く。特任講師・特任助教、任期付助教を含む)で、ライフイベント(育児)中^{※4}であること(男女とも可)。

(3) 今後も本学に在職し、本学のダイバーシティ推進に貢献いただける方。

※1 産前産後休業、育児休業、介護休業中の方を含む。

※2 本学の所属が明記されているもの。

※3 いずれかの著者が主論文として使用している場合は対象外とする

(責任著者として応募する場合、筆頭著者が主論文として使用する予定がないこと)。

論文博士は対象とするが、課程博士は対象外とする。

※4 ライフイベント(育児)中とは、小学校 3 年生までのお子さんをお持ちの方(2026 年度現在)。

2. 提出書類

- (1) 応募申請書(別紙 1)
- (2) 推薦書(別紙 2): 他薦の場合のみ
- (3) 表彰対象論文: 電子ファイル(USB メモリ)と電子ファイルの印刷物の両方を提出

3. 応募期間:2026 年 7 月 1 日(水)から 2026 年 7 月 31 日(金)

4. 表彰

- (1) 表彰者数: 3 名程度
- (2) 賞状と副賞(5 万円)を贈呈する。

5. 選考および選考結果通知

- (1) 選考は、ダイバーシティ・キャリア支援センターにて行う。
- (2) 選考結果は、2026 年 9 月頃に、応募者全員に結果を通知する。

6. 授賞式: 別途通知します。

7. その他

- (1) 表彰者の氏名、所属及び受賞の対象となった研究業績等は公表されます。
- (2) 提出書類に含まれる個人情報厳重に管理し、本選考のみに利用します。
- (3) 提出された書類等は、原則として返却しません。
- (4) 後日、参考資料の追加提出をお願いすることがあります。

8. 応募書類提出先

ダイバーシティ・キャリア支援センター (人事課内)

※問合せ先: 内線 3952、e-mail: career@marianna-u.ac.jp

別表 2026 年度ダイバーシティ表彰（学術分野）応募資格

(ア) 2025 年度の論文公表時の職位等		(イ) 2026 年 4 月 1 日現在の職位等	
講師（大学院講師・特任講師を含む）	○	講師（大学院講師・特任講師を含む）	○
非常勤講師	×	非常勤講師	×
助教（大学院助教・特任助教を含む）	○	助教（大学院助教・特任助教を含む）	○
任期付助教	○	任期付助教	○
診療助手である大学院生（学位論文以外）	○	診療助手である大学院生	×
診療助手でない大学院生	×	診療助手でない大学院生	×
産前産後休業、育児休業、介護休業中	○	産前産後休業、育児休業、介護休業中	○
留学（国内・国外）による休職中	○	留学（国内・国外）による休職中	×
教育関連病院に出向中	○	教育関連病院に出向中	×
教育関連病院以外に出向中	○	教育関連病院以外に出向中	×
その他の休職中	×	その他の休職中	×

女性研究者またはライフイベント（育児）中※の研究者（男女とも可）であり、(ア)、(イ)欄ともに○の場合、応募可。

※ライフイベント(育児)中とは、小学校 3 年生までのお子さんをお持ちの方(2026 年度現在)。